

🍌🍌🍌🍌 幼児のための日本語教室 🍌🍌🍌🍌
ジャルジン

令和2年度、豊田市委託事業として「幼児日本語教室ジャルジン」を伊保子ども園と保見団地 UR 第1集会所で開催することができました。

【幼児の言語調査】（保見教室のみで実施）

「幼児日本語教室ジャルジン」に参加した6名の幼児を対象に「外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLA（文部科学省2014）」を令和2年9月と令和3年3月に実施しました。

DLA 導入会話		
幼児	第1回目 DLA (9月)	第2回目 DLA (3月)
1	68%	調査なし
2	43%	100%
3	87%	100%
4	81%	100%
5	93%	100%
6	調査なし	100%
7	調査なし	調査なし



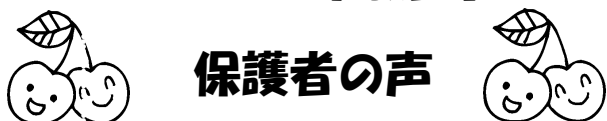
2番～6番の幼児は16問の導入会話の問いかけを理解し、何らかの反応を示すことができ、全員正答率100%となりました。



1回目と2回目のDLA調査ができた2番～5番の幼児は、それぞれ語彙力の伸びが確認できました。

DLA 語彙		
幼児	第1回目 DLA (9月)	第2回目 DLA (3月)
1	23%	調査なし
2	0%	22%
3	29%	40%
4	27%	50%
5	38%	67%
6	調査なし	42%
7	調査なし	調査なし

「ゆめの木教室」



保護者の声

家ですることにもっと責任を持つようになりました。そして、家族と過ごす時間が増えました。「ゆめの木教室」のサポートに感謝しています。皆さんは素晴らしい活動をしています。

皆さまの献身と努力に感謝しています。皆様のおかげで子どもたちが夢に向かうことができます。「ゆめの木教室」がなければ、子どもたちは困っていたと思います。皆様に感謝しています。

「ゆめの木教室」は私にとって安心できる場所でした。私には子どもに教える方法が分からなかったのです。今、娘はもっと上手に話すことができるようになりました。学校では「ゆめの木教室」の助けを借りて多くのことが上達しました。

子どもの国 だより

2021年6月発行 Vol.44



- 放課後学習支援事業「ゆめの木教室」
小学生：月曜日～金曜日 午後2時～6時
中学生：月曜日、木曜日 午後2時～7時半
火曜日、水曜日、金曜日 午後2時～6時

- 幼児の日本語教室「ジャルジン」
- 青少年の健全育成のための事業
問題を抱えた子どもとその家族に対し
随時相談・援助を実施

- 青少年の自立支援事業「そら」
青少年：木曜日：午後6時～8時

- 交流会 年数回開催





「ゆめの木教室」ではスタッフ間で子どもの様子を共有するため、毎日メールで報告を行っています。
令和3年5月 ある日の「ゆめの木教室」報告

- 1年：読めないひらがなは五十音表で探し、覚えられるように頑張りました。
- 1年：書くのも読むのも速いです。まだ習っていない「20」は「02」と書いていました。
- 2年：宿題のみ。漢字の月例テストは7割ほど書けます。ただませんでした。1日8枚もの漢字の宿題があると言っていました。学校での溜まっている分が宿題として出ているのではないかと思います。
- 3年：2年生算数の図形のところがほとんどできていません。し書き順注意。
- 2年：漢字の宿題がたっぷりあり、すべて終了することはでき時間の計算もできていません。
- 4年：算数 円の中で二等辺三角形・正三角形を描くことが難しかったです。
- 4年：意欲的に取り組みました。文章題の題意がなかなか理解できませんでした。
- 5年：小数の二桁×二桁の筆算はできています。音読も滑らかに読めます。
- 6年：小数の位置取りが分かっていません。
- 中1：全員参加。Y先生が理科の授業を中心に行いました。

「生物、植物、被子植物、裸子植物」をツツジの分解したものやマツカサを見せて説明しました。他にもは「正の数・負の数の加減法」基本的な問題をしましたがですが、まだはっきり分かっていないところがあります。

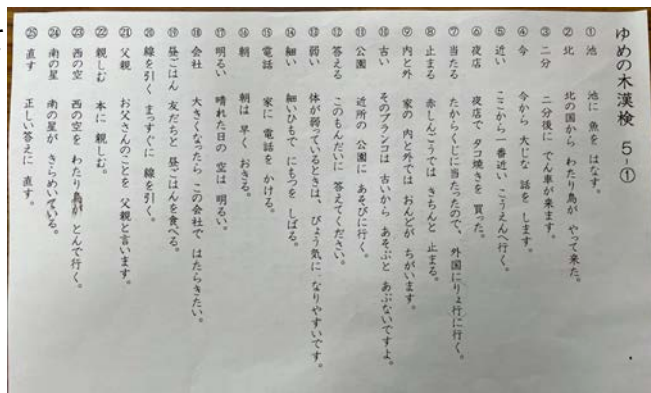
「ゆめの木教室」漢字検定

漢字の定着は外国籍児童生徒にとって大きな課題です。今年度、新しい試みとして「ゆめの木漢字検定」の内容を大幅に変更しました。

これまでの「ゆめの木漢字検定」は小学1年の国語教科書から順に使用頻度の高い漢字と漢字熟語を抜き出し作成されたものでした。新しく作り直した漢字検定は子どもたちの生活場面に直結した内容の短い文章に重要な漢字と漢字熟語を組み込む形で作られて

漢字に対して苦手意識の強い外国人児童生徒が、まず文章に親しみながら漢字が読めるようになることを優先し作成した漢字教材です。

漢字の書きについては、どのような指導が必要で効果的か、今後も検討したいと考えています。



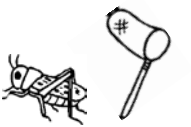
令和2年度「そら」は新型コロナ感染の危険性があるため、ヤングママパパの子連れ参加は見合わせ、個別相談やメール、電話などで生活の様子を尋ねました。

【「そら」に参加している青少年の状況】

- 令和2年度前半、残業がなく定時に帰宅する日が多かった。（正規雇用で働いている青少年）
- 労働時間を大幅に短縮されたり、雇い止めのケースもあり、「そら」では給付金や雇い止めに関する情報提供を行った。（非正規雇用の青少年）
- 子育てに関しては、母子だけで家にいる時間が増えるとストレスがたまり、家庭学習に支障がでるケースが相談された。



理科用語および学習語彙を活用した放課後学習支援の実践



認知面の会話能力を伸ばすため、理科の元教員スタッフが中心となり、理科教科用語と学習語彙に関する実態調査および理科の授業の実践に取り組んでいます。理科の教科を選んだ理由はこの教科が外国人児童生徒にも理解しやすい実物と実体験をもとに観察や実験へと発展する構造になっているからです。

はじめに理科の教科学習内容を理解する上で重要と考えられている理科用語と学習語彙を理科教科書(小学3年~6年)から選び、それらの読み書きチェックプリントを作成、実施しました。結果から漢字の間違ひに関する傾向を把握することができました。

小学4年生の児童は一斉授業形式で理科の授業を受けた後でプリントに取り組みました。その結果、4年生については他の学年よりも正答率が高かったです。今後、年間の理科指導計画を作成し、令和2年度の結果を参考にしながら、これからの指導に活かしたいと考えています。

学年	正答率	誤答率
小学3年	75.0%	25.0%
小学4年	85.0%	15.0%
小学5年	70.0%	30.0%
小学6年	65.0%	35.0%

足助に行ってきました。

「そら フィールドトリップ」

